

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	日本語、英語、選択した第二外国語を読み、書き、聞き、話すことによって、適切なコミュニケーションをはかることができる。
DP2	国際的な視点から、日本語と、日本の文化と社会を理解できる。
DP3	国際交流を積極的に進め、国際的な場で協働を行うために前提となる諸要素について理解することができる。
DP4	言語、文化、社会の多様性を認め、国際社会の課題を発見することができる。
DP5	自ら見出した課題について、適切な方法で情報収集・検討・考察し、その結果や自己の見解を、効果的な形で発表・活用することができる。
DP6	課題解決に向けて自ら考え、努力し、その過程を協調性やリーダーシップをもって他者と分かち合うことができる。
DP7	国際交流の知識とコミュニケーション能力を活用し、国際社会の発展に貢献することを目指して行動することができる。

2. アセスメント・ポリシー

#	アセスメント項目	アセスメント・プラン	対応するDP							責任主体	備考
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7		
1	GPA（課程別）	（学年別）年度GPA分布及び（学年別）通算GPA分布を集計し、アセスメントを行う。	○	○	○	○	○	○	○	学部執行部、学部教授会	学部教務委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
2	成績評価（課程別）	主要授業科目の成績分布及び主要授業科目の単位取得率を集計し、アセスメントを行う。	○	○	○	○	○	○	○	学部執行部、学部教授会	学部教務委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
3	検定/資格（外部語学検定試験含む）等	検定/資格ごとの受験者数・合格率・平均スコアを集計し、アセスメントを行う。	○							学部執行部、学部教授会	学部キャリア形成・就職委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
4	在学生調査	調査回答率及び各設問の回答選択肢毎の選択率を集計し、アセスメントを行う。	○	○	○	○	○	○	○	学部執行部、学部教授会	学部教務委員会、学部学生支援委員会、学部国際教育委員会（留学生委員会）を実施主体としてアセスメントを行う。
5	海外プログラム（長期留学派遣含む）	プログラムごとの派遣学生数・参加率・単位修得率を集計し、アセスメントを行う。	○	○	○	○	○	○	○	学部執行部、学部教授会	学部教務委員会、学部国際教育委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
6	実習/演習/卒業論文（研究）	卒業論文ルーブリック評価により、アセスメントを行う。	○	○	○	○	○	○	○	学部執行部、学部教授会	学部教務委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
7	卒業後の進路（就職内定率含む）	就職内定率・就職率・進学率を集計し、アセスメントを行う。	○	○	○	○	○	○	○	学部執行部、学部教授会	学部キャリア形成・就職委員会を実施主体としてアセスメントを行う。
8	養成課程	養成課程ごとの修了者数及び修了率を集計し、アセスメントを行う。	○	○	○	○	○	○	○	学部執行部、学部教授会	学部教務委員会、学部教職課程運営委員会を実施主体としてアセスメントを行う。

国際交流学科（課程レベル）新旧DPマッピング表

◆新DPと旧DPの比較

新ディプロマ・ポリシー (2022年度入学生から適用)	
DP1	日本語、英語、選択した第二外国語を読み、書き、聞き、話すことによって、適切なコミュニケーションをはかることができる。
DP2	国際的な視点から、日本語と、日本の文化と社会を理解できる。
DP3	国際交流を積極的に進め、国際的な場で協働を行うために前提となる諸要素について理解することができる。
DP4	言語、文化、社会の多様性を認め、国際社会の課題を発見することができる。
DP5	自ら見出した課題について、適切な方法で情報収集・検討・考察し、その結果や自己の見解を、効果的な形で発表・活用することができる。
DP6	課題解決に向けて自ら考え、努力し、その過程を協調性やリーダーシップをもって他者と分かち合うことができる。
DP7	国際交流の知識とコミュニケーション能力を活用し、国際社会の発展に貢献することを目指して行動することができる。

旧ディプロマ・ポリシー (2021年度入学生まで適用)	
DP1	英語と選択した第二外国語について、その言語と文化、社会を理解している。
DP2	国際的な視野から、日本語と、日本の文化と社会を理解している。
DP3	国際交流を積極的に進め、国際的な場で協働をおこなうための広い視野と教養を身につけている。
DP4	英語と選択した第二外国語を読み、書き、聞き、話すことによって、適切なコミュニケーションをはかることができる。
DP5	日本語を読み、書き、聞き、話す能力を十分に持ち、国内及び国際的な場で日本語によって積極的なコミュニケーションをおこなうことができる。
DP6	国際的な視野を持ち、国際交流を実践できる社会人として必要な基礎的な知識やスキルを身につけている。
DP7	日本語と外国語のいずれによっても、自己を適切に表現し、相手と積極的にコミュニケーションを進めることができる。
DP8	コミュニケーション能力と国際交流に関する知識を備え、かつ社会人として必要な倫理と協調性、リーダーシップをもって行動することができる。
DP9	異なる言語・文化・社会に寛容であり、国際社会の発展に貢献することを目指して行動することができる。
DP10	コミュニケーション能力と言語・文化・社会に関する広範な教養と専門知識、国際交流の知識とスキルを活用し、課題を発見し、解決をはかる能力を身につけている。

◆新DPと旧DPのマッピング

新DP	旧DP									
	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10
DP1	<u>DP1</u>	<u>DP4</u>	<u>DP5</u>	<u>DP7</u>						
DP2	<u>DP2</u>									
DP3	<u>DP3</u>	<u>DP6</u>								
DP4	<u>DP9</u>	<u>DP10</u>								
DP5	<u>DP4</u>	<u>DP5</u>	<u>DP10</u>							
DP6	<u>DP8</u>	<u>DP10</u>								
DP7	<u>DP8</u>	<u>DP9</u>	<u>DP10</u>							

備考